

概 説

RED DATA BOOK

菌類

菌類は、一般にかび、きのこ、酵母などと呼ばれ、一般に肉眼では見ることのできない微細なものが多く、全世界で現在およそ10万種が知られている。しかし、この種数は現存する菌類の7%程度に過ぎないと推定されており、未知種があまりにも多い。われわれの目につきやすい比較的大型の子実体を形成するきのこ類（担子菌門および一部の子囊菌門）でさえ、現存すると推定されている種数の半数も知られていないのが現状である。近年いくつかの道府県できのこ類の図鑑およびレッドデータブックが発刊され後者の改訂版の作成がなされ、断片的ではあるが既知種の分布に関する情報が集積されつつある。しかしながら、きのこ類以外の菌類相についてはほとんど不明であり、継続した調査も皆無である。このため、「改訂しまねレッドデータブック（2004）」と同様、本改訂版では絶滅危惧種の選定対象をきのこ類に限定した。

島根県は、中国山地の標高約700m以上に分布するブナ・ミズナラ林、低地に分布するシイ・カシを中心とした照葉樹林、アカマツ・コナラを中心とする雑木林（二次林）、海岸沿いのクロマツ林など、さまざまな森林を有する。これらの森林には種々の樹木と外生菌根を形成し、共生している多様なきのこ種が分布している。さらに、森林内の倒木、落枝、落葉などの木質性基質には腐生性のきのこが多種発生する。島根県中山間地研究センターにおいて2003年から、飯南町のきのこ類の継続的な発生調査が実施されているが、本県全域におけるきのこ類の網羅的かつ継続的な調査研究は食用きのこであるマツタケとショウロ以外ではなく、分布に関する情報が稀薄であることに変わりはない。

絶滅危惧種の選定は菌類相の解明と各々の種の継続的な分布調査に基づいて行われるべきであるが、前述したように、島根県の菌類相がほとんど明らかにされていない現状を踏まえ、前回の絶滅危惧種の選定は環境省が選定した絶滅危惧種（環境庁編、2000）の中から本県において分布が確認された種を中心に行なった。絶滅危惧I類（CR+EN）として選定した5種は県内ブナ林において分布を確認したが、分布密度がきわめて低い種である。絶滅危惧II類（VU）として選定したツキヨタケとウス

キブナノミタケの分布密度はそれほど低くないが、ブナ林の減少とともに絶滅が危惧される種である。しかし、これら7種以外にも絶滅危惧種および準絶滅危惧種に選定すべき種は数多くあると推測される。島根県中山間地研究センター（旧島根県林業技術センター）の長年の調査によると、マツタケは1975年には島根県下30市町村において0.1kg/ha（8齢級以上のアカマツ林面積で除した値）以上の発生が認められていたのに対し、1990年にはこの値が6町に激減した。これはアカマツ林の減少と林内環境の急速な変化に起因すると考えられている。また、ショウロはかつて全県において海岸クロマツ林に分布し、とくに大社町、出雲市から湖陵町にかけての一帯、江津市および益田市の3地域が主要な分布域であったのが、1993年以降、マツクイムシ被害によるクロマツ林の減少などのために子実体の発生量が減り、ショウロ発生地域と呼べる地域は島根半島西部のみになっている。このように両種とも発生量の減少と分布域の狭小化が認められ、このまま放置すれば絶滅の危機にさらされていると言っても過言ではない。今回、とくに分布域が狭小化しているショウロを準絶滅危惧（NT）として選定した。また、ショウロと同様に海岸クロマツ林に分布が認められたホンショウロについても発生数が少なく、分布域が狭小であるため、本種を準絶滅危惧（NT）として選定した。さらに、環境省第4次レッドデータリスト（2012）に絶滅危惧II類（VU）として選定されたヌメリアイタケの県内分布が2004年に確認されたため、本種も準絶滅危惧種とした。また、アカマツ林にはホンシメジ、ハツタケ、カノシタなど、海岸クロマツ林にはニセショウロ、コツブタケ、シモコシ、アミタケ、ヌメリイグチ、チチアワタケなどの発生も認められているが、これらの種もアカマツあるいはクロマツと外生菌根を形成するため、アカマツ林およびクロマツ林の減少はこれらきのこ類の分布にも影響を与えるであろう。今後、県内全域の菌類相を明らかにするとともに、継続的な分布調査を行うことが、絶滅種、絶滅危惧種および準絶滅危惧種の客観的な選定に不可欠であるばかりでなく保護対策の基礎的資料にもなる。

（前川二太郎）

菌類掲載種一覧

計10種

絶滅危惧 I類 (CR+EN)

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| ・ クチキトサカタケ | ・ ムカシオオミダレタケ | ・ エビタケ |
| ・ ツヤナシマンネンタケ | ・ タマチョレイタケ | |

5種

絶滅危惧 II類 (VU)

- | | |
|---------|-------------|
| ・ ツキヨタケ | ・ ウスキブナノミタケ |
|---------|-------------|

2種

準絶滅危惧 (NT)

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| ○ ショウロ | ○ ホンショウロ | ○ ヌメリアイタケ |
|--------|----------|-----------|

3種

【記号説明】

- ・ : カテゴリー区分変更なしの種 (7種)
- ↑ : 上位のカテゴリー区分への変更種 (0種)
- ↓ : 下位のカテゴリー区分への変更種 (0種)
- : 新規掲載種 (3種)
- ◇ : 情報不足からの変更種 (0種)
- ◆ : 情報不足への変更種 (0種)